

2009 年度秋学期 チューター業務を振り返って

所 属	社会学部	社会福祉	学科
担当科目	社会福祉学基礎演習 I		

<秋学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

秋学期の仕事内容の一つ目は、春学期に引き続いてタイムキーパーを行った。ただ、春学期と違って秋学期は 1 回生同士の議論活性化と議事進行に主眼を置いたため、必要最低限の授業に支障が出そうな場合のみ自分が時間を制限した。二つ目は、4 回生として学生生活で得た知識や考え方を基に 1 回生同士の議論の最後に意見の提案やまとめを行った。また、同様の仕事として議論を活性化させるために考え方のヒントや知識、また、議題の提案を行った。

気付いたことは、チューターには高い情報判断能力と議事判断能力がいるということである。1 回生に主体を置いた授業であるため、チューターの意見に議論が収斂しても駄目である。そうならないためにチューターは必要最低限のラインを見極めて意見を述べる必要があると思う。

秋学期は新聞記事を基に授業を行ったため、春学期よりも多様な意見が出てきて感心した。また、他人と意見を交えていく中で、1 回生の意見が精練されて授業を重ねるごとに成長する姿を見る音ができて非常に喜ばしかった。

<今後のチューターまたは先生への提案>

事前準備のために前もって 1 回生の発表内容が分かるようにしてもらえればよかった。